

報告日 令和7年11月21日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	輪之内町			代表者名	朝倉 和仁
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政商工課	連絡先電話番号	0584-69-3126
担当者役職	主査	担当者氏名	市橋 絵利加	連絡先E-mail	
住所	5030292 岐阜県輪之内町四郷2530-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	庁内のDX機運醸成研修事業		
概要	DXの意義を理解し、変革を自ら推進する思考と行動力を身につけ、自発的にDX推進に挑む意欲を高めるための研修				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月17日	講演(実地)	8時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	450

2-2.

派遣場所	会場名	輪之内町役場	最寄駅	岐阜羽島駅
	所在地	岐阜県安八郡輪之内町四郷2530-1	最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	これまで何度かDXの研修を実施したが、自治体職員の方に講師を依頼したのは初めてで、現場の状況や業務の実情をよく理解しておられることから非常に聞きやすく、わたしたちの業務に直結した内容だった。抱えている課題や'無駄'に共通点が多く、職員同士だからこそ共有できる視点が多く示された。また、AIツールの活用方法についてもすぐに試してみたくなるような実践的な学びにつながった。同じ自治体職員の経験から語られる具体的な事例が研修の理解と納得感を高め、非常に効果のある研修であった。
アドバイザーへの要望事項	今回、希望する職員のみを対象としたが、受講者から「この研修を幹部向けに実施してほしい」と強く要望があった。昨年度県事業を活用して「DXマインドセット研修」を実施したが、長尾アドバイザーの研修を受けてもらいたいと好評だったので、再度研修の支援をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	37人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	37	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	○人事異動が頻繁（3年程度）なため、担当者が業務を理解し、変革を考える頃に交代してしまう。 ○人事異動がない専門職（管理栄養士、児童発達支援教室の先生など）の業務にアナログな部分が多く残っている。 ○職員数が少ないため、現場対応が多く、情報システム担当が席を離れられない。問い合わせ対応や端末更新作業なども担当し、負担が大きい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	○職員に「業務フローを見直して不要な事務を洗い出し、廃止する」という意識醸成を図る。 ODX化により、住民の利便性の向上を図る。業務フローの変革により窓口対応のサービス充実に繋がる。時間外勤務の削減で職員のモチベーションも向上する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	○DXの推進に必要なのはツールの導入ではなくゴールを明確にすること、また1番の変革は業務の無駄をなくすことという考え方。 ○共創プラットフォームの紹介 ○生成AIの活用について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	○本研修でDX推進人材の発掘ができた。研修をきっかけに早速紹介いただいたツールを使って業務に取り組んでいる。 ○業務の無駄をなくそうと事業の見直しやオンライン化に取り組む姿が見られた。 ○職員一人ひとりが「まず実践してみる」という姿勢を持つことの重要性を再認識する機会となり、庁内の業務改善やDX推進に向けた意識醸成という点で大きな効果があった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	実際に生成AIを活用し日常業務の効率化や面倒な作業を省く具体的な方法を知る機会となった。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DXに前向きな職員は本研修の受講やその他の研修にも積極的に参加してくれるが、上席の職員の理解がないと推進が難しいため、幹部向けやその他職員にも研修の受講をしてもらい全庁的な機運醸成が必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	アンケートで、今後必要な支援は「成功事例やノウハウの共有」という意見が最も多かった。各課の成功事例や取り組みを共有し、全庁的に広げていく仕組みを作りたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各分野にDX推進リーダーをつくり、全庁的に業務の効率化やオンライン化を図る機運を作る。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	○掲載可
------	------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

